



第63期第2四半期 HIRATA REPORT

平成25年4月1日～平成25年9月30日



平田機工株式会社



代表取締役社長 平田 雄一郎

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第63期第2四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、財政面での懸念事項があるものの、住宅市場の持ち直しや雇用状況の改善などにより、緩やかな回復基調が継続しておりますが、欧州における経済停滞の長期化や中国などの新興国における景気減速など、先行き不透明感が残る状況で推移しました。一方、国内経済は、政府の経済・金融政策を背景に円安および株高が進行し、企業収益や個人消費の持ち直しなど、景況感は着実に上向いておりますが、設備投資においては慎重姿勢が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、自動車関連生産設備事業での受注を確実に結びつけるための積極的なエンジニアリング活動や、半導体関連生産設備事業の既存顧客への密着した営業活動の展開など、営業・受注活動の強化に注力してまいりました。また、事業環境および負荷状況に応じ、内部リソースを最大活用するための最適な人員配置を行うことで生産効率の向上を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は222億36百万円(前年同期比34.8%増)となり、営業利益は8億33百万円(前年同期は4億44百万円の営業損失)、経常利益は7億76百万円(前年同期は4億85百万円の経常損失)、四半期純利益は5億2百万円(前年同期は3億54百万円の四半期純損失)となりました。

通期業績の見込みについて

当第2四半期連結累計期間の業績が期初予想を上回る結果となり、第3四半期以降も期初の想定以上の業績を計上する見込みとなったことから、第2四半期業績の開示に合わせて通期業績予想の上方修正を発表いたしました。

通期の連結売上高につきましては、期中に売上予定の案件の受注が堅調に推移していることに加え、関係会社の業績がおおむね堅調に推移する見込みであること、さらに、国内2社の関係会社の会計期間を変更することとなり、変更する月数分の業績を連結業績に加算す

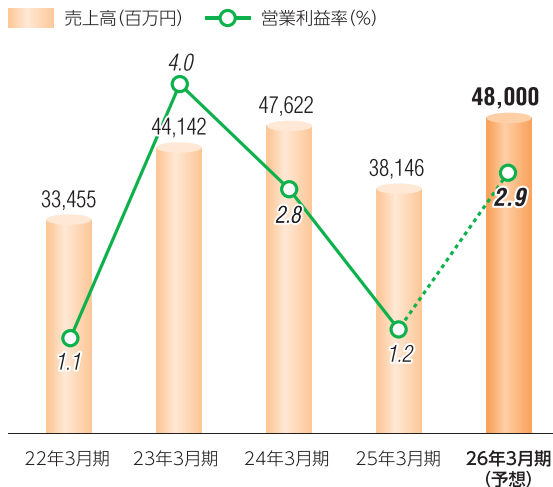
る会計処理となる見込みのため、当初予想420億円から480億円に修正したものです。また、利益につきましても売上高増およびコスト削減により増加する見込みとなったことから、営業利益を7億円から14億円、経常利益を5億円から13億円、当期純利益を3億円から10億円へと、それぞれ上方修正いたしました。

当社は、世界に広がるグループ企業との連携により、さらなる業績向上に尽力してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 平成26年3月期 第2四半期累計実績と通期業績予想(連結)

	第2四半期 累計実績	通期業績 予想
売上高	222億円	480億円
営業利益	8.3億円	14億円
経常利益	7.7億円	13億円
四半期(当期)純利益	5.0億円	10億円
1株あたり四半期(当期)純利益	48.02円	95.57円
1株あたり配当金	0.00円	12.50円

■ 連結売上高・営業利益率推移



マレーシアに新工場、中国広州に支店を設立

自動車、家電関連生産設備を増強、迅速な顧客要求への対応を目指す

(2013年7月、8月)

シンガポールの製造部門をマレーシアに移管

マレーシアのジョホール州ヌサ工業団地に、当社の子会社でシンガポールにあるHirata FA Engineering (S) Pte. Ltd. (以下、HSL) の子会社となる「Hirata FA Engineering (M) Sdn. Bhd. (以下、HFM)」を設立し、8月1日に操業を開始いたしました。

当社は東南アジアの営業・生産拠点として、HSLに営業・設計・製造部門を置いておりましたが、HSLより建屋面積が2割ほど広いマレーシアのHFMに製造部門を移管し、生産体制の強化および人件費などのコスト削減を図ります。主に家電関連生産システムや自動車関連生産システムを中心に、需要に応じて展開していく方針です。



HFMの外観



8月29日に行われたマレーシア工場の竣工式 (右、平田社長)

中国広州の支店、営業開始

中国の広州市に、当社の子会社である平田机工自動化設備(上海)有限公司(英文表記:Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd., 以下、HAS) の支店である「平田机工自動化設備(上海)有限公司 広州分公司(英文表記:Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd. Guangzhou Branch)」を開設し、7月1日に営業を開始いたしました。

HASは主な事業対象地域として、本社のある上海市などを含む華東地区と、広州市などを含む華南地区にて営業展開をしています。華南地区においては、特に自動車関連設備などの分野で華東地区と同等程度の市場規模が見込めることから、営業拠点として同地区広州市にHASの支店を開設し、お客さまのご要望に迅速に対応してまいります。

ジヤトコ株式会社から「グローバル特別賞」を受賞 生産ラインの納入と生産立ち上げへの貢献が評価

(2013年7月)

当社は、2013年7月31日、ジヤトコ株式会社(以下、ジヤトコ社)のメキシコ、中国など複数の生産拠点の拡張に対し、生産ラインの納入と生産立ち上げに貢献したことが評価され、「グローバル特別賞」を受賞いたしました。

ジヤトコ社とは2000年より取引を開始し、近年では毎期、大型のトランスミッション関連設備などを納入しております。ジヤトコ社は、毎年、開発、品質向上、ものづくりで貢献した部品メーカーや設備メーカーの表彰を行っており、今年度は6つの部門で合計24社が選定され、その1社に当社が選ばれました。

同日、表彰式が新横浜プリンスホテルで開催され、当社社長平田雄一郎が記念の楯を受け取りました。



「グローバル特別賞」記念の楯

「CSR報告書2013」発行

株主・投資家、お取引先、地域社会など、ステークホルダーとともに

(2013年8月)

当社の事業活動と、ステークホルダーの皆さまとのかかわりについて広くお伝えするため、「CSR報告書2013」を発行いたしました。当社が進めている製品品質マネジメント、人材活用、環境配慮の取り組みなどについて、関係者のコメントも交えて掲載しています。本報告書を通して、さらにステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを密にすることにより、今後、活動のレベルアップを図っていきます。

当社のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

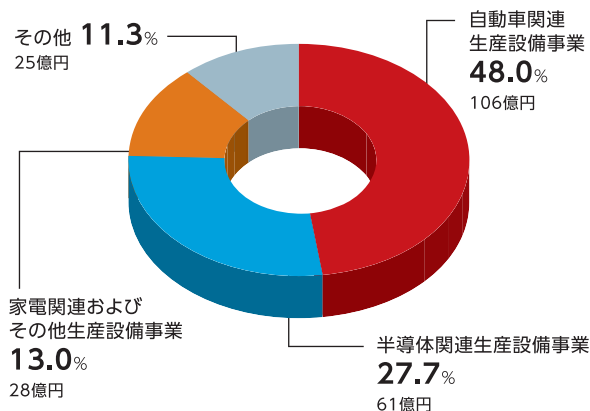
<http://www.hirata.co.jp/corporate/csr.html>



事業部門別概況

当期売上高内訳

(平成25年4月1日～平成25年9月30日)



売上高

222 億円

受注高

232 億円

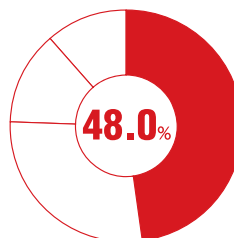
受注残高

209 億円

当第2四半期の売上高は、自動車関連、半導体関連を中心に堅調に推移しました。事業部門別の構成比は、自動車関連が106億円で全体の約48%、続く半導体関連が61億円で約27%、家電関連その他が28億円で約13%となっています。

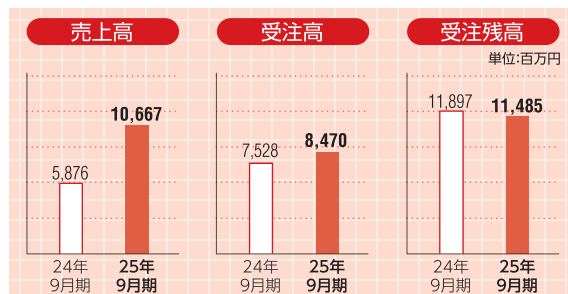
自動車関連生産設備事業

エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 **106** 億円

対前年同期増減率 **+81.5%**



第63期 第2四半期実績

自動車関連設備は、北米および中国メーカー向けのエンジン組立ラインなど大型設備の売上が堅調で、前年同期比81.5%増の106億67百万円と大幅増収となりました。

受注高は、北米メーカー向けおよび国内部品メーカー向けなどの受注が継続し、前年同期比12.5%増の84億70百万円を計上しました。

下期の売上高は113億円を予想しており、通期では220億円を計上する見込みです。



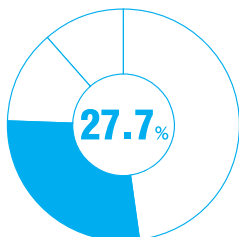
エンジン組立ライン



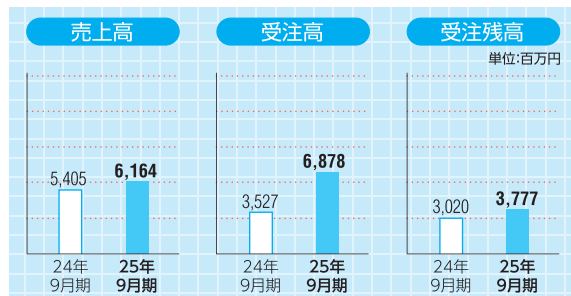
エンジンテスト機

半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、レジスト塗布装置などのFPD関連生産設備の製造・販売



売上高 **61** 億円
対前年同期増減率 **+14.0%**



第63期 第2四半期実績

半導体関連設備は、大型製造受託案件に加え、北米メーカー向けの売上などにより14.0%増の約61億64百万円の売上高となりました。

受注高は、北米メーカー向けおよび大型製造受託案件の受注により、95.0%の大幅増となる68億78百万円を計上しました。

下期の売上高は約58億円を予想しており、通期では120億円を計上する見込みです。



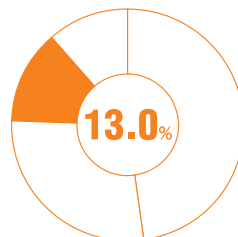
450mm EFEM/ソーター



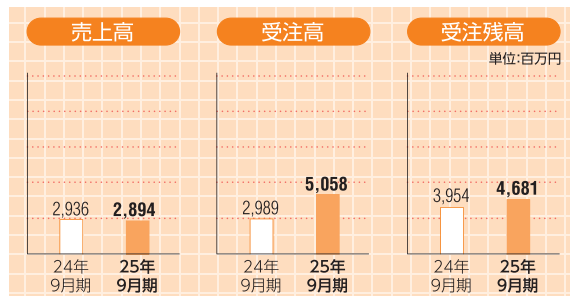
ウェーハ真空搬送ロボット

家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、薄型テレビ、冷蔵庫などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **28** 億円
対前年同期増減率 Δ **1.4%**



第63期 第2四半期実績

家電関連およびその他は、住宅メーカー向け、タイヤ関連などを売り上げましたが、前年同期比で1.4%の減少となる28億94百万円の売上高に留まりました。

受注高は、タイヤ関連および家電メーカー向けなどの受注により69.2%の大幅増加となる50億58百万円を計上しました。

下期の売上高は、51億円を予想しており、通期では80億円を計上する見込みです。



コンデンサー組立装置



モバイル機器組立装置 ACS-MD

連結財務諸表（要約）

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結会計期間末 (24.9.30)	当第2四半期 連結会計期間末 (25.9.30)	前連結会計 年度末に係る要約 連結貸借対照表 (25.3.31)
【資産の部】			
流動資産	32,356	36,958	33,622
現金及び預金 1	9,377	7,374	5,351
受取手形及び売掛金	14,355	21,320	21,462
商品及び製品	286	173	228
仕掛品 2	4,862	5,261	3,648
原材料及び貯蔵品	321	317	305
繰延税金資産	2,196	1,726	1,496
その他	976	786	1,132
貸倒引当金	△ 19	△ 2	△ 2
固定資産	19,262	19,762	20,010
有形固定資産	15,742	16,006	15,892
建物及び構築物（純額）	4,424	4,350	4,381
土地	9,707	9,750	9,731
その他	1,609	1,905	1,778
無形固定資産	343	251	281
投資その他の資産	3,177	3,504	3,836
資産合計	51,619	56,720	53,632

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結会計期間末 (24.9.30)	当第2四半期 連結会計期間末 (25.9.30)	前連結会計 年度末に係る要約 連結貸借対照表 (25.3.31)
【負債の部】			
流動負債	22,460	26,147	23,300
支払手形及び買掛金 3	6,542	8,445	7,341
短期借入金	6,104	7,092	6,403
一年以内返済予定の長期借入金 4	4,880	5,789	5,476
一年以内償還予定の社債	375	-	-
賞与引当金	119	144	101
その他	4,438	4,675	3,976
固定負債	11,963	11,515	11,940
長期借入金 4	7,246	7,654	7,360
退職給付引当金	1,145	856	1,021
その他	3,571	3,004	3,558
負債合計	34,423	37,662	35,240
【純資産の部】			
株主資本	13,416	14,330	14,056
資本金	2,633	2,633	2,633
資本剰余金	2,322	2,322	2,322
利益剰余金	8,703	9,714	9,343
自己株式	△ 243	△ 340	△ 243
その他の包括利益累計額	3,617	4,561	4,157
少数株主持分	162	166	178
純資産合計	17,196	19,058	18,392
負債純資産合計	51,619	56,720	53,632

ポイント

1 現金及び預金

現金及び預金は、大口の受注案件の売掛金回収が進んだ結果、前期末比20億23百万円の増加となりました。

2 仕掛品

仕掛品は、大型案件の仕掛増加などにより、前期末比16億13百万円の増加となりました。

3 支払手形及び買掛金

支払手形及び買掛金は、電子記録債務での支払い開始に伴う減少の一方、生産量の増加に伴う買掛金増加の結果、前期末比11億4百万円の増加となりました。

4 有利子負債

有利子負債は、生産高の増加に伴う運転資金の増加により、短期借入金が6億88百万円増加するなど、前期末比12億93百万円の増加となりました。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 24.4.1 至 24.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (自 25.4.1 至 25.9.30)	前 期 (自 24.4.1 至 25.3.31)
売上高	16,496	22,236	38,146
売上原価	14,254	18,699	32,418
売上総利益	2,241	3,536	5,727
販売費及び一般管理費	2,686	2,702	5,276
営業利益	△ 444	833	450
営業外収益	75	88	152
営業外費用	116	144	208
経常利益	△ 485	776	394
特別利益	0	12	129
特別損失	49	1	23
税金等調整前 四半期(当期)純利益	△ 534	788	501
法人税等	△ 131	304	256
少数株主利益	△ 48	△ 18	△ 39
四半期(当期)純利益	△ 354	502	284

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 24.4.1 至 24.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (自 25.4.1 至 25.9.30)	前 期 (自 24.4.1 至 25.3.31)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,381	1,072	△ 643
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 501	△ 160	△ 1,018
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,064	△ 886	△ 679
現金及び現金同等物に 係る換算差額	13	171	144
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,828	1,970	△ 2,197
現金及び現金同等物の 期首残高	7,549	5,351	7,549
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	9,377	7,322	5,351

ポイント

5 売上高

売上高は、自動車関連を中心に堅調に推移し、前年同期比34.8%増の222億36百万円となりました。

6 営業利益

増収に加え、コスト削減に努めた結果、営業利益は8億33百万円(前年同期は4億44百万円の営業損失)となりました。

7 経常利益

経常利益は、売上高の増加に伴い、7億76百万円(前年同期は4億85百万円の経常損失)となりました。

8 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7億88百万円に対し、売上債権の減少6億40百万円、たな卸資産の増加13億27百万円などにより、10億72百万円の収入となりました。

9 投資活動によるキャッシュ・フロー

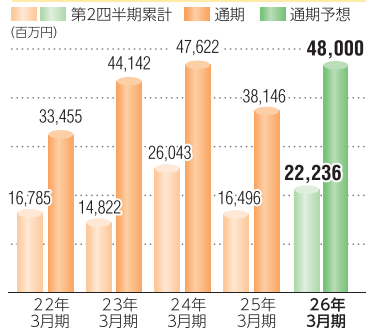
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1億8百万円や、定期預金の預入による支出51百万円などにより、1億60百万円の支出となりました。

10 財務活動によるキャッシュ・フロー

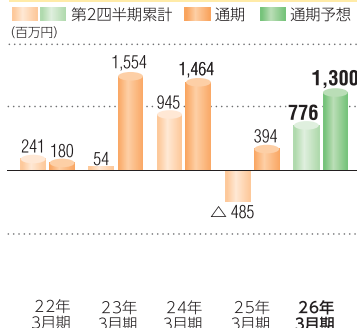
財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入44億99百万円、長期借入金返済による支出38億93百万円などにより、8億86百万円の支出となりました。

財務ハイライト

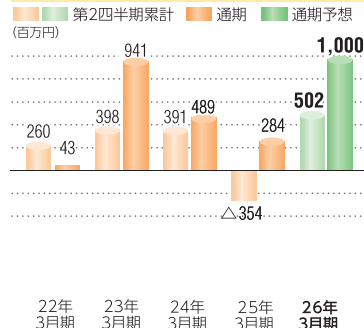
売上高



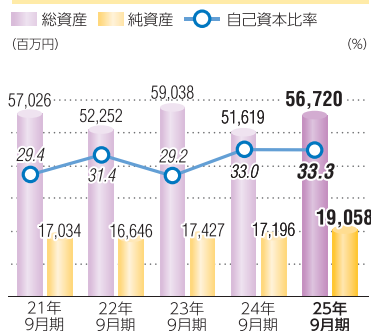
経常利益 (損失)



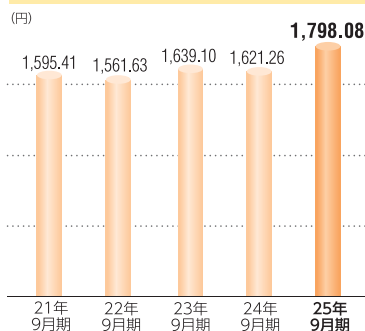
四半期(当期)純利益 (損失)



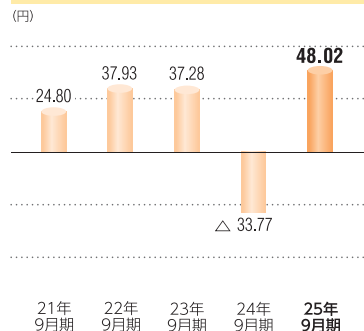
総資産／純資産



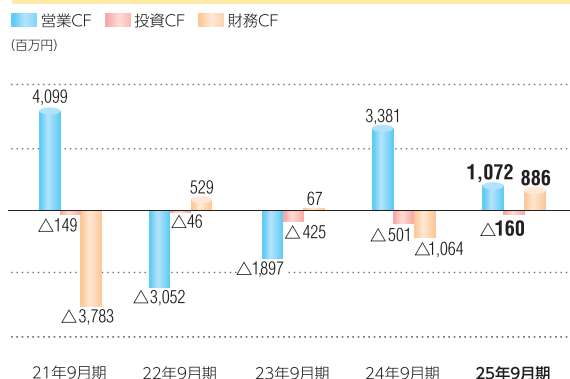
1株あたり純資産額



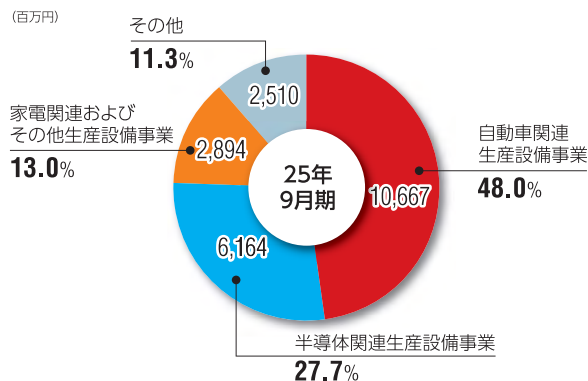
1株あたり四半期純利益 (損失)



キャッシュ・フロー



事業別売上高および比率



会社概要 (平成25年9月30日現在)

会 社 名	平田機工株式会社
会 社 設 立	1951年12月29日
資 本 金	2,633百万円
従 業 員 数	1,946名 (連結 平成25年9月30日現在)
業 務 内 容	各種生産システム、産業用ロボットおよび 物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	東京都品川区戸越3丁目9番20号

役 員	代表取締役社長	平田雄一郎	執行役員	堤 春生
	代表取締役副社長執行役員	橘 勝義	執行役員	藤原 五男
	取締役執行役員	田中 敏治	執行役員	平賀 靖英
	取締役執行役員	安高純一郎	執行役員	大田 謙次
	取 締 役	坂本 広徳	執行役員	市原 雄一
	常 勤 監 査 役	小川 克真	執行役員	上田 文雄
	監 査 役	村田 邦夫	執行役員	本郷 仁基
	監 査 役	山田 昭	執行役員	黒田 健治
	監 査 役	鳥巢 宣明		

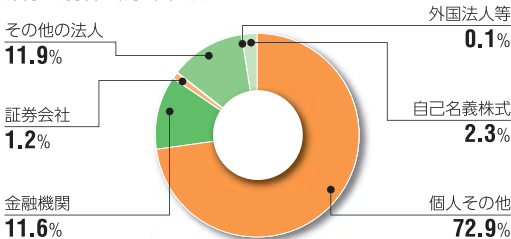
株式の状況 (平成25年9月30日現在)

●発行可能株式総数	37,000,000 株
●発行済株式総数	10,756,090 株
●株主数	2,375 名

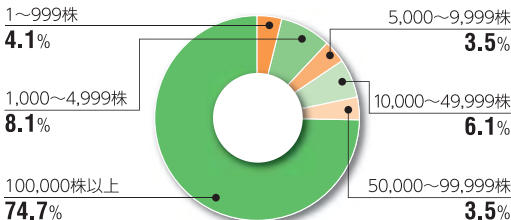
■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
平田機工社員持株会	897,510	8.3
平田 得好	594,462	5.5
平田 雄一郎	582,600	5.4
SMC株式会社	500,000	4.6
平田 宏之	464,972	4.3
平田 満	457,629	4.3
肥後銀行	456,000	4.2
平田 滋夫	363,044	3.4
平田 正治郎	321,500	3.0
平田 隆三郎	261,500	2.4

●所有者別株式分布状況



●所有株数別株式分布状況



株主メモおよびその他のIR情報

株主メモ(株主のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
株主確定基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
	※期末配当のみとさせていただきます。	
定時株主総会	毎年6月開催	
単元株式数	100株	
証券コード	6258	
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	<郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <電話照会先> 0120-782-031(フリーダイヤル)	
公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経 済新聞に掲載して公告します。	

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

その他のIR情報

当社ホームページの個人投資家向けのページには、当社の事業内容、業績の推移、あゆみなどさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

■ 平田機工株式会社ホームページ



<http://www.hirata.co.jp/>

■ IR情報



<http://www.hirata.co.jp/ir/>

● IR情報に関するお問い合わせ先

平田機工株式会社 管理本部 総務部 IR・広報室

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail hirata_ir@hirata.co.jp

平田機工株式会社

本 社

〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目9-20
TEL.03-3786-1226 FAX.03-3786-1264

熊本本部

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111
TEL.096-272-0555 FAX.096-272-7901